

# 兵庫県内のスマートシティの取組と 今後の方向性

2023年8月2日

第1回ひょうごスマートシティ推進検討会

兵庫県企画部情報政策課

- 1 つくりたい未来を考える**
- 2 兵庫県内のスマートシティの取組の現状**
- 3 スマートシティモデル事業について**

---

# 1 つくりたい未来を考える

# 「スマートシティ」で一体何をめざすのか？

みんなをめざす行き先



行き先がわかっていないと、たどり着けません。

# 社会変化 6つの潮流

## 人口減少・超高齢化

- 減る人口
- 大都市への人口集中
- 人口の高齢化、伸びる寿命

⇒ 人口が減っても豊かな兵庫をつくる

## 地球からの警鐘

- 気候変動
- 頻発する災害
- 感染症の流行
- 資源の枯渇

⇒ 未来の暮らしを守るために直ちに行動を

## テクノロジーの進化

- 時間や空間の制約を取り除くICT
- 生命の概念を変えるテクノロジー

⇒ テクノロジーを暮らしの向上に活かす

## 世界の成長と一体化

- 人口も経済も大きくなる世界
- つながり合い一つになる世界

⇒ 世界とのつながりを地域の活力源に

## 経済構造の変容

- 経済活動の「非物質化」
- 富の集中と格差の拡大

⇒ 公正で持続可能な経済社会をつくる

## 価値観と行動の変化

- 持続可能性重視
- 所有から利用へ
- 固定から流動へ
- 画一から多様へ

⇒ 新しい価値観・行動様式を根付かせる

2050年の  
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる  
一人ひとりの可能性が広がる

## 『躍動する兵庫』

包摂

×

挑戦

躍動

5つのめざす社会

### I 自分らしく生きられる社会

- ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ③ 世界へ広がる交流

### II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

### III 誰も取り残されない社会

- ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

### IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

### V 生命の持続を先導する社会

- ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

# スマート兵庫戦略（2022年10月）

## ▶ 位置づけ

- ・「ひょうごビジョン2050」のデジタル分野の実行プログラム
- ・官民データ活用推進基本法に基づく「官民データ活用推進計画」

## ▶ 推進期間 2022～2024年度（3年間）

## ▶ 戦略推進の基本姿勢

### ① データ活用による変革

- ・重要性・多様性・容量が増大する「データ」を効果的に生成・収集・利活用、新たな価値を創出

### ② バーチャル空間の徹底活用

- ・バーチャル空間を最大限活用し、時空間の制約を超えた自由度・満足度の高い暮らし・働き方を実現

### ③ 多様な主体との連携

- ・多様な主体との連携や県民の参画により、デジタルの力で地域特性に応じた身近な課題を解決

### ④ 機動的・継続的な改善

- ・機動的・柔軟で継続的な改善を旨とし、データを活用して施策の点検と見直しをスピーディに繰り返す

### ⑤ 誰一人取り残されないデジタル化

- ・使いやすさ（UI）、使い心地の良さ（UX）、利用者目線に立った「アクセシビリティ」に最大限配慮

# スマート兵庫戦略

## ▶ 目的

県全域でデジタル実装を加速化し、県民**誰もがデジタルの恩恵を享受**でき、**自らのニーズに応じたサービスを選択**できる「スマート兵庫」の実現

## ▶ 取組の4本柱

### I 行政のデジタル化

利用者視点のサービス提供や業務プロセス改革による業務効率化を徹底し、県民満足度を向上

(取組方向) ①質の高い行政サービスを提供 ②行政のワークスタイルを変革 ③自治体運営を透明化

### II 暮らしのデジタル化

リアルとバーチャルでつながり、誰でも健康で快適な暮らしを享受し、心豊かな暮らし（Well-Being）を実感

(取組方向) ①医療・福祉分野へICTを活用 ②個性を伸ばす教育、生涯を通じた学びを拡大  
③安全で安心な暮らしを確保 ④国内外との交流、多様な暮らしや働き方を拡大

### III 産業のデジタル化

生産性向上や価値創造を促し、内外からの投資、誘客・交流を促すことで、持続可能な環境・社会・経済を実現

(取組方向) ①スタートアップや産業を集積 ②スマート化により『御食国ひょうご』を実現  
③脱炭素社会（カーボンニュートラル）を実現 ④産業を支える人材がデジタル技術を活用

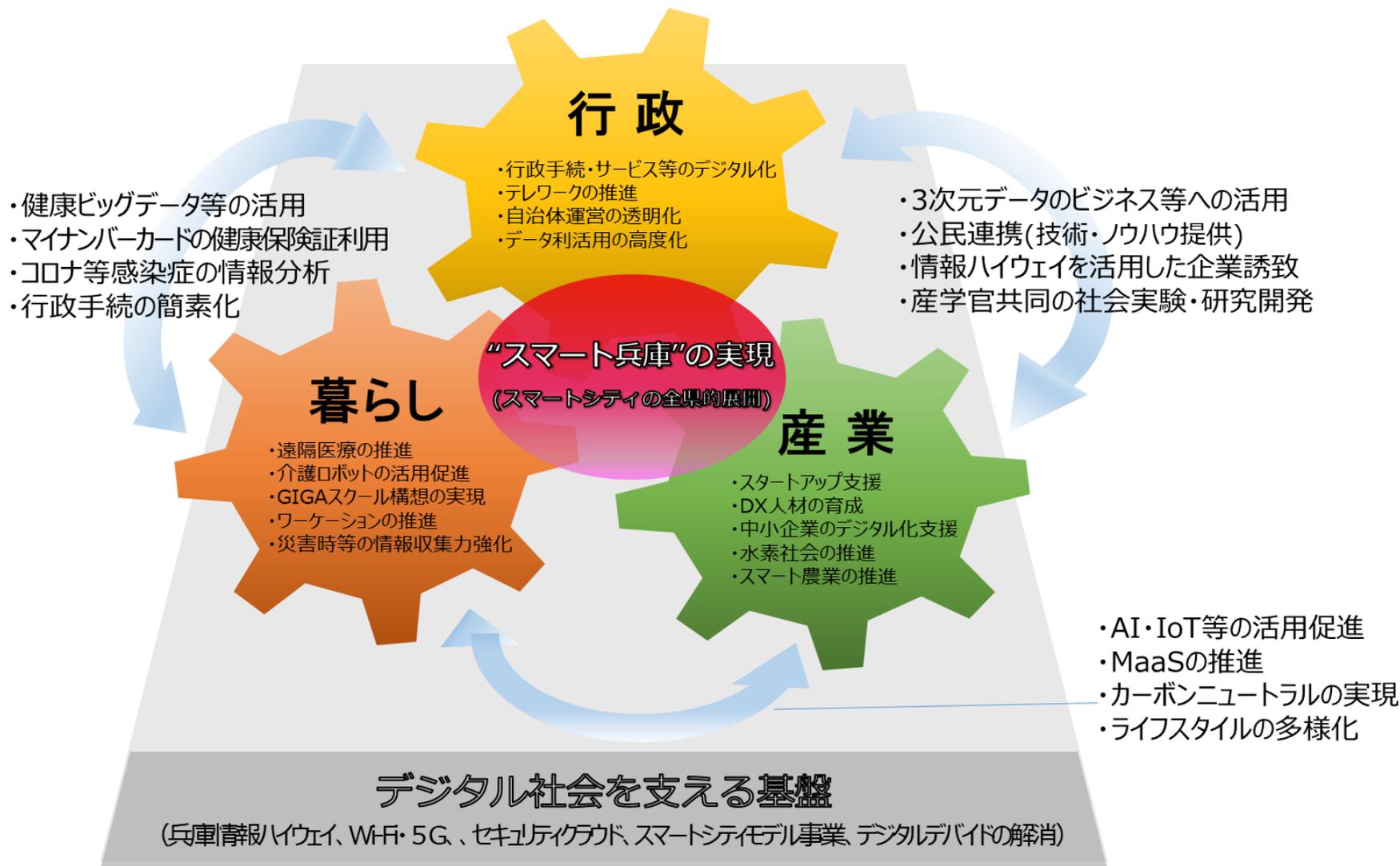
### IV デジタル社会を支える基盤

多種多様な環境やニーズを踏まえ、誰もが、いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できる基盤を確立

(取組方向) ①安全・容易につながるネットワークを構築 ②県内市町をはじめ関係機関と連携し、環境を整備

# スマート兵庫戦略

## ▶ 全体像 多様な主体が連携し、行政、暮らし、産業のシームレスなデジタル化を推進



---

## **2 兵庫県内のスマートシティの取組の現状 (デジタル田園都市構想交付金採択状況)**

# スマートシティの定義

## <内閣府の定義>

- ① ICT 等の**新技術**や官民各種の**データ**を**活用**した市民一人一人に寄り添ったサービスの提供や、各種分野における**マネジメント**（計画、整備、管理・運営等）の**高度化**等により [手段]
- ② 都市や地域が抱える**諸課題の解決**を行い、また**新たな価値を創出し**続ける [動作]
- ③ **持続可能**な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場 [状態]



# スマートシティを進める上でのポイント

## ① 地域全体が対象になる

- ・個々の建物を対象とする「スマートビル」や「スマート工場」とは違い、**関係者がケタ違いに多く**、難易度が高い

## ② 取組内容が幅広い

- ・元は海外で、環境、エネルギー、交通、再開発など推進する概念だったが、日本では、人口減少・高齢化対応、インフラ老朽化や防災・減災等にも適用される概念へと発展
- ・**日本各地で様々なチャレンジ**がなされ、その中で**優良事例が出始めている**状況
- ・これから取り組む場合、既に他の自治体が同様のチャレンジをしている可能性が高い  
⇒**ゼロから始めるのではなく、先行事例に学び、既存の蓄積や経験を活用して取り組む**

## ③ 鍵は「データ活用」

- ・最新のICTを活用しなくても、**今あるデータを活用**し、市民サービスの質の向上や、新たなサービスの提供ができれば、それは立派なスマートシティの取組
- ・大事なことは、**データを集め、共有し、活用**すること。**すべての自治体が、手持ちの資源ですぐにでも取り組める**、そのような理解を広げることが大切

# デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の概要

- デジタル田園都市国家構想を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を国の交付金により支援
- 兵庫県内の採択件数は、R3：21件、R4：42件、計63件（41市町中30市町）採択と拡大

※TYPE X はマイナンバーカード利用横展開事例創出型を指す。また、地方創生テレワーク型は除く。

予算	タイプ	全国		兵庫県
		件数	金額（億円）	件数
R3補正	TYPE 1	705	122	19
	TYPE 2/3	27	49	2
R4補正	TYPE 1	1,686	228	34
	TYPE 2	24	26	1
	TYPE 3	8	18	1
	TYPE X	51	85	6

<TYPE別の内容>

	対象	上限額補助率	カード交付率	カード利活用
<b>マイナンバーカード利用横展開事例創出型</b> <small>※令和4年度補正予算限りの時限措置</small>	当該団体内におけるカードの新規用途開拓かつ他の地域における横展開が容易な取組	国費：3億円 補助率：10/10	現状申請率7割以上を申請要件	当該団体内におけるカードの新規用途開拓が必須要件
<b>マイナンバーカード高度利用型【TYPE3】</b>	カードの新規用途開拓かつ総合評価が優れている取組	国費：6億円 補助率：2/3	現状交付率全国平均以上を申請要件	カードの新規用途開拓が必須要件
<b>データ連携基盤活用型【TYPE2】</b>	データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2		カードの利活用を含む場合は加点
<b>優良モデル導入支援型【TYPE1】</b>	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2	採択にあたり交付率を勘案	
<b>デジタル実装計画策定支援事業</b>	デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業 予算額：3億円	※交付率全国平均を目指すことを提示	

<対象事業（一例）>

**【TYPE3】**  
マイナンバーカードで各種市民サービスを利用（図書館利用や避難所の受付等）

**【TYPE2】**  
複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ（会津若松市）

**【TYPE1】**  
書かない窓口 地域アプリ 医療MaaS

出典：内閣府 <https://www.chisou.go.jp/sousei/about/kouhukin/index.html>

13

# 令和3年度補正 兵庫県内採択状況

TYPE1 : 19件 (12市町)

TYPE2 : 2件 (2市)

No	タイプ	カテゴリ	市町名	事業名
1	TYPE 1	行政サービス	神戸市	データポータル整備による市民参画推進事業
2				デジタルツールによる持続可能な学生コミュニティネットワークの構築
3				ICTを活用した新たな学校体育施設開放事業
4			川西市	公園施設・道路情報等のICT化による快適まちづくり事業
5			猪名川町	ICT技術を活用した行政情報配信による住民サービス向上
6			加古川市	行政サービスの包括的なデジタル化推進事業
7			姫路市	遠隔行政窓口システムの導入
8			豊岡市	全ての市民のための窓口サービスデザイン事業
9			新温泉町	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス導入事業
10		教育	加西市	スマート図書館ネットワーク事業
11				オンライン遠隔同時授業を活用した地域STEAM教育の実施
12			佐用町	教育データ基盤構築・学校デジタル化による教育力・地域力向上事業
13		観光	加西市	デジタル観光パスポートを活用したデータ分析・マーケティングによる観光振興
14			豊岡市	地域アプリによる"まち全体が一つの温泉旅館"のDX化実現促進事業
15		交通・物流	豊岡市	持続可能な地域モビリティ構築事業
16		文化	尼崎市	歴史的公文書等管理・公開事業
17		住民サービス	三木市	LITE DXを活用した子どもたちの交通事故ゼロをめざす安全安心なまちづくり
18		しごと・金融	加西市	地域通貨による経済循環創出事業
19		農林	養父市	養父市森林経営管理システム導入事業
20	TYPE 2	技術工夫型 (見守り・交通・住民)	加古川市	"安全・安心"から地域をつなぎ育む、未来のスマートコミュニティ事業
21		特定分野リード型 (地域・福祉・行政)	養父市	養父市デジタルヘルシーエイジング事業

# 令和4年度補正 兵庫県内採択状況（その1）

TYPE1:34件（22市町） TYPE2:1件（1市） TYPE3:1件（1市） TYPEX:6件（6市町）

No	タイプ	分野	市町名	事業名
1	TYPE 1	行政サービス	姫路市	ひめじスマート窓口事業
2			明石市	行政手続オンライン化事業
3			西脇市	税証明コンビニ交付サービス導入事業
4			西脇市	書かない窓口
5			宝塚市	書かない窓口の実現
6			川西市	窓口ワンストップ化事業
7			小野市	持ち運べる市役所の構築
8			丹波篠山市	申請窓口電子化事業
9			丹波市	キャッシュレス決済の全庁的な推進
10			加東市	異動受付支援システム構築業務
11			たつの市	市民にやさしい「書かない」デジタル行政窓口推進事業
12		住民サービス	芦屋市	ICTを活用した貸館施設の効率的管理の導入
13			高砂市	公共施設予約システム更新事業
14			川西市	ICタグを活用した図書館サービスの向上
15			加西市	DAO/NFTを活用した“みんなで作る”人の駅
16			新温泉町	図書利用カードとマイナンバーカードの連携事業
17		教育	尼崎市	STEAM教育モデル事業
18			朝来市	AIドリルの導入
19		文化・スポーツ	尼崎市	MLA連携推進事業
20			伊丹市	デジタルミュージアム導入事業
21		医療・福祉	朝来市	要介護認定訪問調査用モバイル（タブレット）導入事業
22			福崎町	予防接種問診票システムと健康管理システム連携

# 令和4年度補正 県内採択状況（その2）

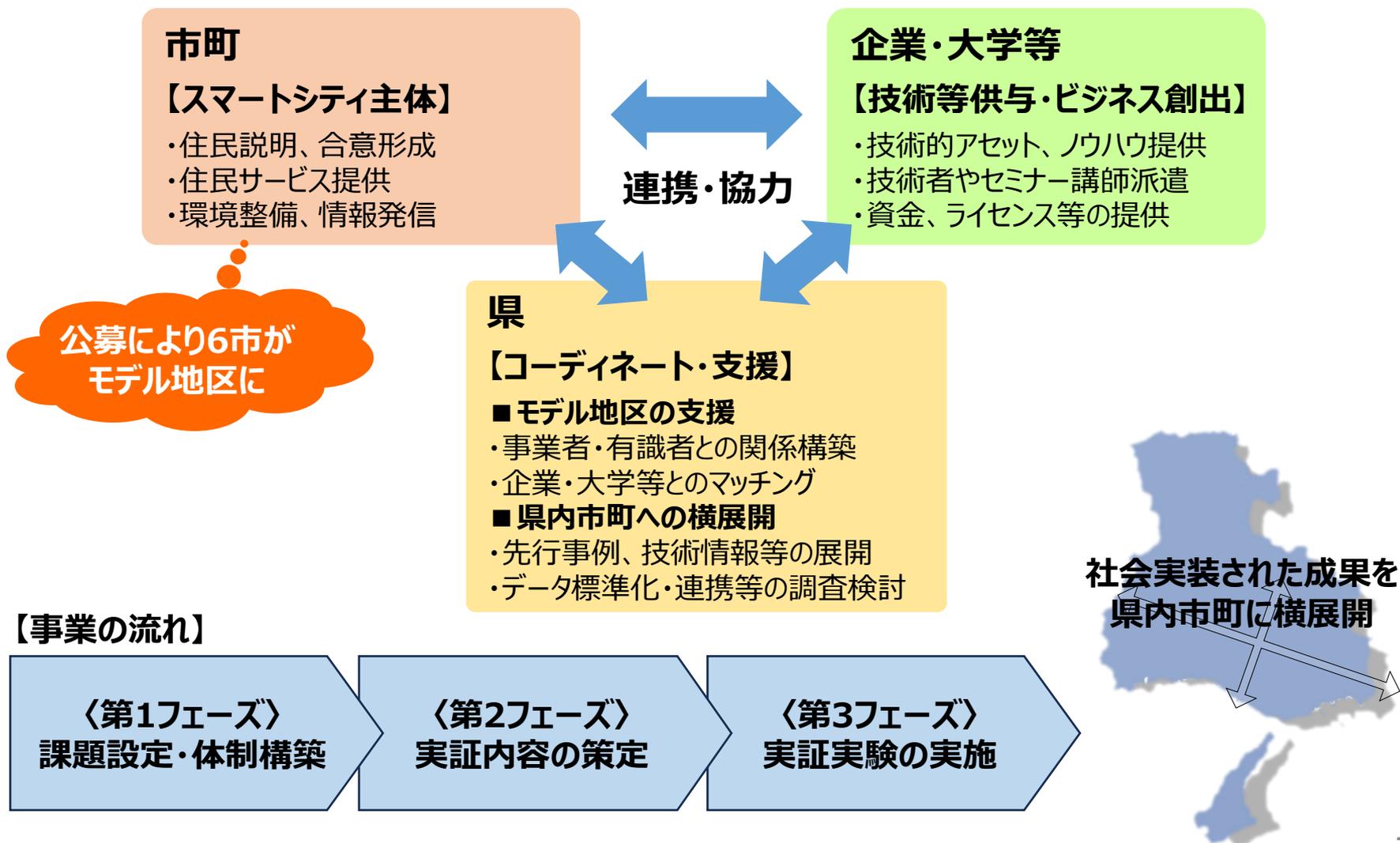
No	タイプ	分野	市町名	事業名	
23	TYPE 1	子育て	尼崎市	AI相談機能活用事業	
24			西宮市	公立保育所ICT化事業	
25			三田市	ICT活用事例の横展開による地域課題解決型スマートシティ推進事業	
26			福崎町	公立認定こども園ICT化推進事業	
27		交通・物流	丹波市	デマンド（予約）型乗合タクシー運行システム更新	
28			朝来市	ビッグデータを活用した生活道路等の交通安全対策検討支援	
29		防災・インフラメン テナンス	神戸市	市有施設の不具合に関する投稿「LINE版KOBEぽすと」の導入	
30			朝来市	DXを用いた下水道管路情報のスマート管理化事業	
31			猪名川町	ベース・レジストリの整備及び情報共有の高度化による住民サービス向上	
32			神河町	急性期医療ICT連携ネットワークサービス	
33		産業振興	高砂市	高砂市中小事業者キャッシュレス・DX化支援事業	
34			加西市	地域活性化アプリのマイレージ機能を活用したデジタルマーケティング事業	
35		TYPE 2	商店街活性化	加西市	地域通貨を活用した「サステナブル・スマートシティ」推進事業
36		TYPE 3	医療・健康・子育て	姫路市	マイナンバーカードによる姫路ライフ・スマート都市実装事業
37	TYPEX	マイナンバーカード 利用横展開事例 創出型	神戸市	マイナンバーカードを活用した地下鉄海岸線フリーパス事業・健康増進サポ ート事業	
38			洲本市	“SUMA-TO”事業	
39			三田市	マイナンバーカード利活用型スマートシティ推進事業	
40			養父市	マイナンバーカードデジタルパスポート化事業	
41			猪名川町	マイナンバーカードを活用した郵送DX	
42			多可町	スマートな公的個人認証による公式LINEを活用したフレイル予防事業	

---

### **3 スマートシティモデル事業について (今年度の取組と今後の方向性)**

# 兵庫県スマートシティモデル事業（R4～6）の概要

- ✓ 地域が抱える課題をICTやデータの利活用により解決する「スマートシティ」のモデルとなる市町の取組を県内市町への横展開を見据え、県・企業等が連携して支援



# 令和4年度の取組

- ・地域の課題をICT・データ利活用により解決する政策手法「スマートシティ」が注目を集め、全国の自治体で取組が拡大
- ・県内でもこの動きを広げるため、新たな取組に意欲がある市町の取組を、企業・大学等と連携して支援する「スマートシティモデル事業」に着手

## ▶ 公募により6市（三田市、加古川市、三木市、加西市、姫路市、養父市）をモデル地区に設定

【モデル地区の取組状況（県支援・各市独自取組・国交付金事業等）】

三田市	加古川市	三木市	加西市	姫路市	養父市
<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんだ里山スマートシティ官民共創プラットフォーム運営</li> <li>・スマートシティ都市間連携の推進（道路等の浸水管理把握の現状把握検討、ワンセンサ実証の広域連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを搭載した高度化見守りカメラの設置</li> <li>・情報通信技術活用コミュニティサイクル（シェアサイクル・高齢者見守り自転車）の導入</li> <li>・データ連携基盤を介した浸水センサーデータの広域連携実証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青山7丁目団地再耕プロジェクト</li> <li>・万博にむけたテロワル体験とインバウンドツーリズム創出</li> <li>・スマート行政の仕組みを構築（キャッシュレス、ワンストップ窓口）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域通貨ポイント「ねっぴ〜Pay」を推進（R4年9月運用開始）</li> <li>・スマート図書館ネットワーク</li> <li>・オンライン遠隔授業</li> <li>・デジタル観光パスポートを活用したデータ分析・マーケティングによる観光振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔行政窓口システムの導入</li> <li>・マイナンバーカードの認証によるパーソナルデータを活用した市民のQOL向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの所持及び活用によるメリット拡張事業</li> <li>・デジタルヘルシーエイジング事業（オンライン申請、電子クーポン、健康管理、遠隔行政窓口など）でデータ連携基盤導入</li> </ul>

### 主な成果

- ・デジタル田園都市国家構想交付金等の活用を支援（6市とも採択され特色ある取組を展開）
- ・その他、事業者のマッチング、個別事業への協力、情報共有・情報発信等により各市の取組を後押し
- ・スマートシティの取組を効果的に実施するために必要となるデータ連携基盤に関する基礎調査を実施

### 主な課題

- ・他地域への横展開を見据えた先導事例の創出
- ・データ連携基盤の必要性・あり方等の見極め
- ・スマートシティ推進の動きを県全域へ拡大

# 令和5年度の取組と今後の方向性

各モデル地区で実証事業を行うとともに、県全域でのスマートシティ推進の機運を高めるため、県と市町の情報共有・協議の場として「ひょうごスマートシティ推進検討会」を立ち上げる。

## 課題

①他地域への横展開を見据えた先導事例の創出（モデル地区での実証）

②スマートシティ推進の動きを県全域へ拡大  
③データ連携基盤の必要性・あり方等の見極め

## 具体的な取組

### ①ひょうごスマートシティ・チャレンジ

- モデル6市、関係事業者と連携し、ICT・データ利活用により地域の課題解決に挑戦する取組を、県内市町への横展開を見据えて実施
- 取組分野：福祉、子育て、農林水産、ヘルスケア、行政サービス、観光、産業振興 等
- 企業等とのマッチング
- 報告会を開催し、成果と課題を共有。他地域への展開や次年度の実証事業へ連携

フォーラム（公開）

### ②ひょうごスマートシティ推進検討会

#### 主な検討課題

- ①県全域への広がりや底上げ（機運醸成）
  - 多様な先行事例を市町と共有、有効な事例の横展開を促進
- ②持続可能なデータ連携基盤のあり方
  - 共通課題であるデータ連携の技術基盤のあり方、整備手法等

#### 主なテーマ

8月キックオフ 3月までに計5回程度開催予定

- スマートシティの現状と課題
- 住民中心のスマートシティのあり方
- スマートシティを実現するためのデータ連携とその技術基盤
- データ連携基盤に関する今後の検討の進め方

Smartcity Forum Hyogo 2023 ～Well-Being広がる ひょうごの未来～ 令和5年10月31日（火） 予定

今後の方向性

R6

先導事例の創出と横展開により  
スマートシティの取組を県全域へ拡大

▶ 地域主導の自律的・持続的な展開へ